

# 事業概況

2012年3月期第2四半期  
決算説明会

**日揮**

2011年11月10日

代表取締役社長 兼 COO  
川名 浩一

## CONTENTS

1. 上半期のマーケット環境
2. 上半期の受注状況
3. 下半期注力案件の状況
4. 下半期以降、2012年度のマーケット環境
5. 最近のマーケット環境におけるトピックス
6. 当社のプロジェクト遂行状況
7. 事業投資ビジネスの状況

## 1. 上半期のマーケット環境

中東、北アフリカ、オーストラリアを中心に  
プロジェクト計画が進行中

- 新興国のエネルギーニーズの拡大、資源国内の人口増大が背景
- 原油価格が安定的に推移（70ドル～90ドル台）
- 但し、プロジェクト固有の理由から、一部でFIDに遅れ

## 2. 上半期の受注状況

上半期連結受注額：約1,280億円  
（通期受注目標：5,500億円）

### 主な受注案件

アルジェリア

ビルセバ原油処理  
プロジェクト

国内

医薬、電力関係

### 3. 下半期注力案件の状況

- **ベトナム ギソン製油所プロジェクト**
  - ▶ 早期の投資決定を期待。
- **オーストラリア イクシスLNGプロジェクト**
  - ▶ 顧客は2011年末までに投資決定予定。  
現在EPC役務の見積中。
- **サウジアラビア ラービグ2プロジェクト**
  - ▶ 入札中。韓国コントラクターを含む厳しい戦い。

このほか、国内、海外中小案件に注力し、

**連結受注目標 5,500億円達成を目指す。**

### 4. 下半期以降、2012年度のマーケット環境

**2011年度と同等以上のプロジェクト計画が予定**

- 中東では、クウェート、U.A.E.の石油関連プロジェクトが進展。
- 北アフリカでは、アルジェリアがガス開発をさらに拡大。
- アジア、豪州ではLNGの新規、ならびに増設が進展。

## 5. 最近のマーケット環境におけるトピックス

- 欧州の金融危機、世界経済の後退懸念
  - ▶ 中東、北アフリカのプロジェクト計画は、自国内のエネルギーニーズに対応するものであり、大きな影響は出ないと予測。
- 中東、北アフリカにおける民主化運動
  - ▶ ほぼ沈静化。当社プロジェクト遂行国(アルジェリア、カタール、サウジアラビア、U.A.E.)では、目立った動きなし。
- 原子力発電の減速とポスト原子力エネルギー
  - ▶ 当面は、天然ガスをはじめとする化石エネルギーが代替。再生可能エネルギーの普及を後押し。新興国は、依然として原子力発電に前向き。

## 6. 当社のプロジェクト遂行状況

**全体感：順調なプロジェクト管理を継続**

- 押し並べて、どのプロジェクトも順調に進展
- 資機材、レーバ市場は安定した状況
- プロジェクト管理能力全体がレベルアップ



**目標の単体8.5%、連結11~12%を上回る粗利益水準**

## 7. 事業投資ビジネスの状況

### 資源開発、インフラ分野に注力

#### 2011年度上半期の実績

米国・シェールオイル開發生産事業  
米国・天然ガス探鉱事業  
豪・新設上下水道事業

#### 2011年度下半期の取り組み方針

引き続き、水、発電などのインフラ分野、  
資源開発分野で良質な案件を開拓

## 将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ先  
日揮株式会社 経営統括本部 広報・IR部  
Tel:045-682-8026 Fax:045-682-1112  
E-mail: ir@jgc.co.jp